

特集

保健師をいかに確保し育成するか

保健師の確保、特に中堅の保健師の不足は、全国的な課題となっており、今後、ベテランの大量退職が見込まれる自治体も多い。さらにコロナ禍が発生し、保健師の増員が求められる中、いかに保健師の採用を確保するか、また、職場に定着できるよう人材育成体制を充実できるかは、多くの自治体にとって切実な問題である。

そこで、保健師の確保に関する課題や定着を促す人材育成のポイントを整理した上で、有効な取り組みを紹介し、保健師の採用増や離職を防ぐ人材育成体制の在り方を探っていく。

- 保健師の確保等における施策の動向
- 自治体における保健師人材確保のポイント
- 自治体における新規採用保健師の人材育成の実態と課題
保健師が働き続けるための人材育成体制とは
- 保健師人材の確保に向けた神奈川県取り組み
- 千葉県における新任期保健師の人材育成の強化
- 人口7000人以下の睦沢町における統括保健師の存在と人材育成での役割